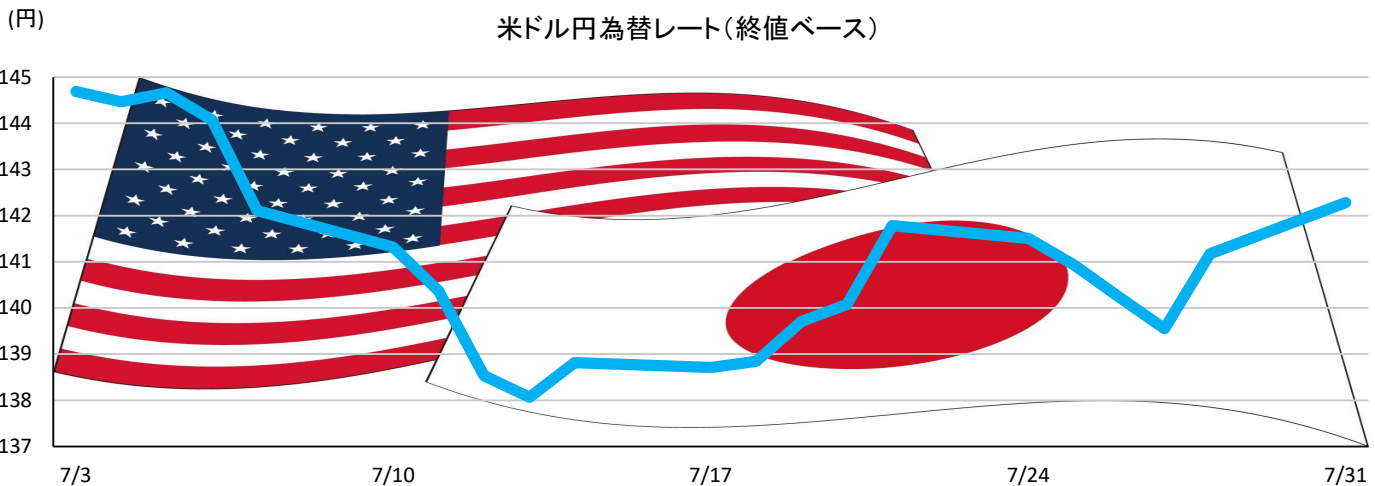


MARKET REVIEW

先月の振り返り：7月のドル円相場は144円後半～137円前半で推移。米雇用統計が市場予想を下回りドル安が進む中、日銀のイールドカーブコントロール(YCC)修正観測や米消費者物価指数などが市場予想を下回ったことで利上げ打ち止め観測が高まり、約2ヶ月ぶりに137円台に。しかし日銀の植田総裁が金融緩和政策の現状維持姿勢を強調したことが伝わると、一転して円売りの流れとなった。月末の各国金融政策発表を控えて小動きとなっていたが、FOMC後にパウエル米FRB議長の、9月は利上げしない可能性に含みを持たせた発言や、日銀金融政策決定会合で長期金利変動許容上限を引き上げたことが事実上の利上げ措置と受け止められ円高が進む場面も見られた。ただ円高が落ち着いた後は日米金利差を意識した動きが強まりドル円は142円台を回復した。



EXTRA VISION

今後の展開：日銀がYCCの柔軟化を決めたことで金融政策が当面修正される可能性は低く、日米金利差を意識した円安ドル高の流れは続いていきそうだ。ただマーケットの関心事がFRBの金融政策となってきたことで、米経済指標毎に発表内容次第で利上げをめぐる思惑から乱高下の可能性がある。また145円台が近づいてくると介入警戒感から上値が重くなる可能性もあり、短期的な動きに注意を払いつつポジションを構築していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
8 / 23 (水)	22 : 45	US	製造業購買担当者景気指数 (PMI)	☆☆☆☆
8 / 23 (水)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
8 / 30 (水)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
9 / 1 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
9 / 13 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
9 / 14 (木)	21 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
9 / 14 (木)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆